

ワークショップとその後の検討の進め方

1. 実施計画の策定

実施計画は、中長期的に、個別具体の公共施設の方向性をエリアごとに示し、最終的には、全エリアを取りまとめて、市の実施計画とします。

特に、直近の5カ年の間になんらかの再編を行う施設については、存廃や移転・複合化などの具体的な方向性を明記することとします。

実施計画は資料3でお示した内容から、本日のワークショップや地域ごとの意見交換会でのご意見をもとに市内部で再度検討し、まずはエリアごとに策定していきます。

学校施設など、児童、生徒の環境を注視しながら、今後も継続的に検討が必要な施設については、どのような手段で再編を進めていくべきものか、保護者を中心とした、市民の皆様の意見を含め、検討していきます。

(実施計画の内容例：現時点では資料3程度を想定)

施設名	建築年度 (年度)	再編案			
		取組内容			
		施設・棟 延床面積 (㎡)	20年間の方針 (H29～H48)	短期(5年) (H29～H33)	中長期(15年) (H34～H48)
吉井構造改善センター	1983	499	機能継続	現状維持	長寿命化改修 (H44～H47)
御橋体育館	1983	543	民営化	貸付を廃止 地元への譲渡 または解体	
小佐々海洋センター体育館	1984	1,102	規模縮小	現状維持	規模を縮小して 建替え (H44～H47)
...	...				

なお、一旦実施計画を策定した後において、社会情勢の変化や財政状況、施設の老朽度等により、当初の計画通りに実行できない場合もあります。

特に、社会情勢やニーズの変化等に対して速やかな対応が求められる場合などを想定して、今後5年おきに実施計画を見直していきます。

2. 今後の進め方

本ワークショップによる意見を求める機会は、今回をもって終了といたしますが、実施計画の策定にあたっては、今後もより幅広く、多くの皆様にこの検討内容を周知し、継続して、ご意見をうかがうことが重要と考えております。

今回示した適正配置案については、地域ごとの意見交換会において同じ内容のものを示し、ご意見をお聞きする場を設定します。

並行して、支所や公民館などにおいて、ワークショップでの検討結果、検討の状況をパネル展示しながら多くの皆様のご意見をうかがう「オープンハウス」の開催も予定しており、皆様のご意見をふまえつつ実施計画を策定していきます。

